

部局名	健康福祉部	所属名	児童発達支援センター	所属長名	那須 道子	電 話	488-1111
-----	-------	-----	------------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3172		事務事業名称	児童発達支援センター維持管理事業					短縮コード	経常	3172	臨時	3173
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	05	心身障害児通園施設費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等	児童福祉法第43条第1号及び第2号。八千代市児童発達支援センターの設置及び管理に管理に関する条例。						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和48年4月以降開設された複数の施設が，平成7年4月に統合され「八千代市児童発達支援センター」として開所されたことにより開始し，施設の維持管理を行っている。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	6本の柱（章）	01	第1章健康福祉都市をめざして				
昭和48年4月以降開設された複数の施設が基本となっているので，建物を中心とした施設の老朽化が著しい。維持管理に要する負担が年を重ねるごとに増えている。							大項目（節）	02	第2節社会福祉				
							中 項 目	03	3. 障害者（児）福祉				
							小項目（施策）	02	(2)障害者（児）保健福祉サービスの充実				
							細 項 目	01	①相談・支援体制の充実				
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	児童発達支援センター施設							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 施設運営維持管理に関すること ①施設の維持管理に係る事業							
	※平成25年度に計画していること： 平成24年度と同様							
意図 （何を狙っているのか）	利用者に安全に，快適に施設を利用してもらえる。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	23年度	24年度		25年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	施設延べ床面積	m ²	894.4	894.4	894.4	894.4	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	施設の維持管理（施設修繕）の件数	件	9	7	7	8	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	施設利用者の施設の管理状況に関する満足度	%	100	100	90	100	
	指標2	施設内での施設の不備を原因とする事故発生率	%	0	0	0	0	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3172	事務事業名称	児童発達支援センター維持管理事業			所属名	児童発達支援センター
			単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	8,561	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	616	8,561	8,722	8,786	
	主な事業費の内訳			修繕料 1,093千円 委託料 1,052千円 賃金 932千円	修繕料 200千円 委託料 1,058千円 賃金 1,071千円	修繕料 225千円 委託料 1049千円 賃金 937千円	修繕料 200千円 委託料 1067千円 賃金 1071千円	
	人件費(B)			千円	1,888.6	1,862.1	8,338.1	
トータルコスト(A)+(B)			千円	11,065.6	10,423.1	17,060.1	17,124.1	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	児童発達支援センター維持管理事業は第4次総合計画の体系「障害者(児)保健福祉サービスの充実」に向け推進しているので結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	児童発達支援センター運営事業の所期目的が達成するまで、維持管理事業も継続して行わなければならない。				
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	公共施設の維持管理については、市が責任を持って取り組む事業であることから、民営化はなじまない。				
			☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	現状の「対象」・「意図」で結果に結びつく。					
		☐ 見直す必要がある						
		☐ 評価対象外事項						
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	現在清掃は再任用職員（2名）の用務員及び臨時的任用職員（5時間勤務1名）が実施し、一部民間の清掃業者に委託（床等）を行うなど、コストを抑え且つ利用者が快適で安全に利用できるよう環境整備を整えている。今後とも経費を削減し効率性・有効性を上げるために努力は継続していく。				
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☒ 可能性がない					
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等						
		☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用						
		☐ I T化等の業務プロセスの見直し						
		☐ 受益者負担の見直し						
		☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
		☐ 上記以外の方法				2		実施主体 (所管部署)
		⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☐ ある					
	☐ ない							

コード	3172	事務事業名称	児童発達支援センター維持管理事業			所属名	児童発達支援センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			今後も利用者が快適で安全に利用できる環境整備として、利用者の駐車場の確保、建物危険防止を含む樹木の剪定等に努める。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			利用者が快適で安全に利用できる環境整備として、利用者の駐車場の確保、建物危険防止を含む樹木の剪定等に努める。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など							
1. 通所児童の保護者から施設の老朽化を指摘され、施設の整備（冷暖房の整備等）について強い要望がある。 2. 施設が狭く受け入れ人数に制限があるので、拡充を求める声が強い。 3. 大型遊具も老朽化が進み使用不可となっているものがあり、トランポリン購入の強い要望がある。 4. 通園バスが老朽化しており修理が毎年行われていることから、保護者からも安全性に関する不安が出されている。							

所属長コメント	利用者が快適で安全に利用できるように、施設の維持管理に取り組んでいく。						
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。			
	☐ 手法プロセスの改革・改善						
	☐ 事業規模の拡大・縮小						
	☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							